

平成28年9月9日

杉並区議会議長  
井口 かづ子 様

文化芸術・スポーツに関する特別委員会  
委員長 横山 えみ

### 文化芸術・スポーツに関する特別委員会活動経過報告書

文化芸術・スポーツに関する特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 活動年月日

平成28年6月14日 報告聴取

#### 2 活動経過

##### (1) 平成28年度 文化・芸術振興事業の概要について

文化・芸術振興事業を、以下のとおり行うとのこと。

- ① 日本フィルとの友好提携事業の実施。覚書に基づき、フルオーケストラによるコンサートなどを実施し、区民が文化・芸術に親しむ環境を醸成する。
- ② 区役所2階で区民の創作作品の展示などを行う、区民ギャラリーの運営。
- ③ 文化・芸術振興審議会の開催。今年度より2020年東京オリンピック・パラリンピック文化プログラムについての意見・提案を、区の文化プログラムの取り組みに活用していく。
- ④ 区内で行われる、文化・芸術活動事業に係る経費の一部の助成。
- ⑤ 情報誌「コミュかる」を発行し、区内で実施される文化・芸術情報を発信する。
- ⑥ 杉並ゆかりの文化人アーカイブ事業において、区にゆかりのある文化人の活動の足跡などを映像にまとめ、区内外に区の文化的な魅力を発信する。
- ⑦ 「古典の日」関連事業として、区の伝統芸能の紹介や昔遊びの体験などを通じ、子供たちが気楽に古典に参加・体験が出来るようにする。
- ⑧ 協働提案事業「すぎなみ戦略的アートプロジェクト」の実施。今年度は店舗の壁面などを活用するまちなかギャラリーの発掘を進め、それらを活用したアートウォークイベントを開催し、区民の文化・芸術を育む環境作りを進める。

(2) 平成28年度オリンピック・パラリンピック連携推進担当の事業概要について

2016年リオデジャネイロ大会に合わせ、パブリックビューイングを区役所広場で実施するなど、2020年東京大会に向けての普及啓発に取り組むとのこと。

また、区は開催都市の一員とし大会関連マークの使用が認められているが、使用に当たっては、組織委員会の承認が必要。区は大会エンブレムが区民の目に触れる機会を増やすため、職員用名刺や封筒に印刷する。さらに広報PR用ピンバッジ(大会エンブレム)を活用して行政活動における普及啓発を図るとのこと。

なお、組織委員会では非営利団体などの主催事業に活用できる第2エンブレムの作成を予定しているが、幅広く活用できるよう、都へ調整を行うとのこと。

(3) 平成28年度スポーツ振興課及びオリンピック・パラリンピック教育事業推進担当の事業概要について

区民一人ひとりが生涯にわたってスポーツに親しみ、健康で豊かな生活を送れるよう、以下の事業を行うとのこと。

- ① スポーツ推進計画の推進に関して、健康スポーツライフ杉並プランの着実な推進のため、すぎなみスポーツアカデミーなどの実施。
- ② 運動場などの体育施設などの維持管理。
- ③ スポーツ振興計画の重要な実施主体である、公益財団法人杉並区スポーツ振興財団の運営費の助成など。
- ④ 今年10月にリニューアルオープン予定の妙正寺体育館の改築と、平成29年度中に開設予定の永福体育館の旧永福南小学校跡地への移転改築の取り組み。
- ⑤ 区民スポーツの推進のため、各種スポーツ大会について、後援や共催の実施。
- ⑥ 地域スポーツのコーディネーターとなる、スポーツ推進委員に関すること。
- ⑦ 中学生対抗駅伝といった、体育・レクリエーション事業に関すること。
- ⑧ 次世代トップアスリートの育成・支援を行うチャレンジ・アスリート事業により、夢に向かって自らの意思でスポーツを選びチャレンジする子供を育成する。
- ⑨ リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックを契機として、関連イベントを実施し、2020年東京大会に向けての機運を醸成する。

以上のとおり、3件の報告を聴取し、質疑応答を行いました。

以上